



まほろん通信

VOL.12

(平成16年4月15日発行)
(財)福島県文化振興事業団
福島県文化財センター白河館
〒961-0835

白河市白坂字一里段86
TEL 0248-21-0700(代)
FAX 0248-21-1075

URL <http://www.mahoron.fks.ed.jp>



石器を作る

まほろんでは、実技講座としてさまざまな募集型の体験学習を実施しています。平成15年度は、土器づくり、カラムシから紡いだ糸での布づくり、石庖丁づくり等の実技講座を実施してきましたが、その最後をかざり、3月20日に石器づくりを実施しました。

当日は、小学年生から年配の方まで13名のみなさんが参加されました。まほろんの収蔵庫には旧石器時代のナイフ形石器から、縄文時代の石鏃まで、たくさんの石器が収蔵されていますが、今回は黒曜石を使って石の槍を作ってみました。原石から石器に適した大きさの剥片を剥ぎ取る作業までは当館の職員が行い、参加者のみなさんには形を整える工程を体験してもらいました。黒曜石は代表的な石器素材で、その破片は鋭い切れ味があります。製作工程で、かなり破片が飛び散るので、参加者にはゴーグルを付けていただき、膝に皮の代わりにゴム板をあててもらいました。準備が整ったら、鹿角製のハンマーで石の縁を叩いて形を整えていきます。きれいに形を整えるためには、ハンマーを当てる場所や角度、力の加減を工夫しなければなりません。それでも、石の槍に近い形のものが次々と出来上がり、みなさん満足されたことと思います。

今年度も、新メニューを含む様々な募集型の体験メニューを実施する予定です。(詳しくは裏面のページをごらんください。)前年と違っている点は、受付を先着順にした点と電話等での申し込みもOKとした点です。また、ホームページでも申し込みが行え、募集状況もわかるようにしました。是非、まほろんの体験学習にご参加ください。



総務管理課より

まほろん入館者 10万人達成！

まほろんのオープン以来の入館者が累計で10万人に達し、2月28日に館内のプロムナードギャラリーで記念セレモニーが行われました。10万人目の入館者となられたのは、郡山市の先川原祐貴さん(郡山市立小山田小5年)で、まほろんを訪れたのは3回目、この日はお母さんの靖子さんと一緒に来館されました。セレモニーでは藤本強館長から認定証と記念品が、時代衣装を着たまほろんアテンダントから花束が贈られました。まほろんでは、年間入館者3万人を目標に掲げてきましたが、オープンから2年7ヶ月で目標よりも半年近く早い達成となりました。



研修課より

「体験学習支援研修」の御案内

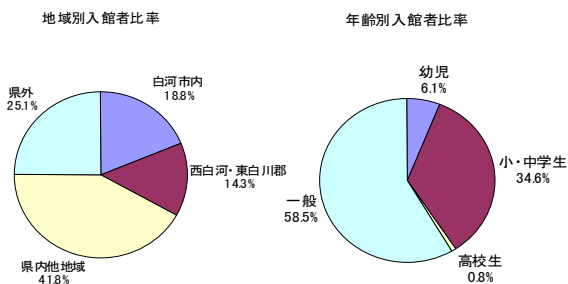
研修課では、今年も多く研修を計画しており、今回は、まほろんが実施している体験学習の指導者を養成することを目的とした研修についてお知らせいたします。

今年度は野焼きによる「土器作り」の技術の習得を目指して「体験学習支援研修1及び4」を開講します。火にかけ木の実を煮ることができる土器をつくることを目的に研修します。また「体験学習支援研修3」は、初めてまほろんを離れ相双地区の会場を借りて、相双地域の弥生時代を代表する石器である石包丁の作り方についての講座を開きます。石包丁の製作を通して弥生時代や米作りについて考えていくことを目的としています。

「教職員発掘調査体験研修」は、船引町教育委員会のご協力を得て実施する予定です。考古学入門講座(土曜日)も2回計画されています。新聞紙上を賑わすことの多い考古学の成果について、県内外から講師をお招き

平成15年度まほろん入館者は34,068人

おかげさまで持ちまして、まほろんは平成15年度も3万4千人を超える方々にご来館頂きました。地域別年齢別の利用者の比率は、以下のとおりです。



なお、今年度から体験活動室でのメニューに「ミニ石包丁づくり」など新たな体験学習が加わる予定です。また、好評をいただいております「土器づくり」など実技講座の回数も増やすほか「埴輪づくり」「耳飾りづくり」など新たな講座も用意し皆様の参加をお待ちしております。また、春・秋の企画展では指定文化財展、収蔵資料展が計画されているほか、常設展「話題の遺跡」コーナーなどでも、年に数度の展示替えを行い、常に新鮮な情報を取り入れて参りますので、引き続きのご来館をお待ちしております。なお、団体でのご利用は事前にご相談ください。また、各種イベントなどの紹介も行っておりますので、まほろんのホームページもご覧ください。



< 昨年度の教職員発掘調査研修 >

し、わかりやすくお話しします。

以上の研修のほか、専門職員に向けた研修、さらに「臨時館内研修」や「職員派遣研修」などの研修もあります。遺跡の調査や、遺物の整理などでお困りのときには、ご遠慮なく当館研修課までご相談ください。

| 予定日 | 名称 | 内容 | 定員 | 研修場所 |
|------------|-------------|------------------------------|-----|------|
| 5月 1・2日 | 体験学習支援研修1 | 土器作りの指導者を養成するための研修です。 | 12名 | まほろん |
| 7月 3日 | 入門考古学講座Ⅰ | 福島県内の貝塚を話題にした講演です。講師：玉川 一郎先生 | 30名 | まほろん |
| 7月 21～23日 | 体験学習支援研修2 | 「まいざり」「アンギン台」を作って、使ってみる研修です。 | 12名 | まほろん |
| 8月 4～6日 | 教職員発掘調査体験研修 | 縄文時代の遺跡の発掘体験研修です。 | 30名 | 船引町 |
| 10月 13～15日 | 無形の文化財研修 | 無形の文化財(民俗学)の基礎を学習する研修です。 | 8名 | まほろん |
| 10月 23・24日 | 体験学習支援研修3 | 石包丁を作りながら弥生時代について考えます。 | 12名 | 相双地区 |
| 12月 4日 | 入門考古学講座Ⅱ | 考古学の基礎や福島の各時代についての講座です。 | 30名 | まほろん |
| 2月 5・6日 | 体験学習支援研修4 | 土器作りの指導者を養成するための研修です。 | 12名 | まほろん |

製鉄イベント報告その2

前回、昨年(2023年)の11月1・2日の両日にわたって行われた「鉄づくり」イベントの前半部分(復元製鉄炉の構築等について)のお話をしました。今回は、実際の操業についてお話し致します。

前日までに踏みふいごの設置や粘土による炉の構築・乾燥などの作業が終了し、ようやくイベント当日の朝が迎えられました。炉の中には、昨日からのオキがたまり、十分に保温されています。



砂鉄投入のようす

午前11:00、イベントが開始されました。炉の中には最初に木炭が投入され、ふいごが踏まれ、炉に風が送られました。開始から1時間後、砂鉄の投入が始まりました。これ以降、約10分おきに砂鉄3.5kgと木炭3.6kgが炉の中に投入されました。

ふいごを踏む人々は、最初は片側2人ずつの4人でしたが、だんだん片側3人の6人になり、そのうち片側4人ずつの8人に増え、最後はとうとう片側6人の12人になりました。まるで、満員電車のつり革にぶら下がっているような状況でした。

炉の操業を占う、炉からの不純物のノロ出しも順調に行われ、当初の目的にある鉄づくりは成功裏に終わるかに見えました。しかし、1日目の夕方あたりから、大きな問題がくすぶり始めました。炉壁が溶けて薄くなりだし、操業自体の限界が垣間見えてきたのです。イベントとしての成功を納めるためには、少なくとも2日目の朝まで操業を継続しなければなりません。砂鉄の投入量を減らしたり、木炭の樹種を変えたりなど、さまざまな延命策がとられました。2日の午前2:32、ついに送風が停止され、操業が終了しました。開始

から15時間34分がたっていました。投入した砂鉄は132.3kg、木炭は279.1kg、不純物のノロは60.2kgでした。



炉から出たノロ

炉の操業終了から8時間ほどたった2日の午前11:00より、炉の解体作業と鉄の取り出し作業を行いました。本来であれば、炉の半分ほど



12人でふいご踏み

を残し、古代の製鉄遺跡から確認された炉壁などとの比較材料にしたかったのですが、炉壁の厚さは、当初の半分以下で、倒壊の危険性が高まったため、壁を全て壊して鉄を取り出すことにしました。取り出し作業も鉄が重くて困難を極めました。何とか炉から引きずり出し、水をかけてさました後、壁の残骸等を、鉄のハンマーで



半分ほど崩した炉

たたいて落としていきました。「カキン」という、高い金属音が周囲に響き、ようやく鉄ができたことがわかりました。重さは34kgもありました。

今回の操業は、まさに空前絶後のプロジェクトであり、多くのみなさまの力により成功した鉄づくりであったと思います。踏みふいごを踏んで下さったみなさま、さまざまな形で参加して下さったみなさまに心より厚く厚く御礼申し上げますとともに、また次の操業の機会がありましたら、ご協力をよろしくお願いたします。



炉から引き出したきた鉄

奈良・平安時代の製鉄炉より復元した炉での操業実験例

| 実験炉名 | 炉形 | 実施年 | モデル遺跡と炉 |
|------------|-----|---------------|--------------|
| 長谷川自然通風炉 | 竪型炉 | 1976 | 群馬県菅ノ沢遺跡3号炉 |
| 風土記の丘1~6号炉 | 竪型炉 | 1988 ~1991 | 千葉県花前遺跡74号 |
| NT3号炉 | 竪型炉 | 2001 | 福島県長瀬遺跡3号炉 |
| まほろん1号 | 箱形炉 | 2003 | 福島県大船迫遺跡15号炉 |

*本表は、2002 穴澤義功「実験炉の解体と記録方法のモデル—NT3号炉をモデルとして—」、『鉄関連遺物の分析評価』研究Gr.・「前近代製鉄実験」研究Gr.合同例会予稿集』を参考に作成しました。なお、上記以外に島根大学田中研究室・大阪府交野市教育委員会・熊本県装飾古墳館でも古墳時代の箱形炉の操業実験が行われています。

今年度の行事予定

1 実技講座(野焼き以外は先着順、午前10時～12時に実施)

| 期日 | 体験メニュー | 体験内容 | 募集締切 | 募集人数 | 対象 | 材料費 |
|-----------|-----------------|----------------------|--------|------|--------|------|
| 4月18日(日) | 土器づくり1 | 小型の縄文土器をつくります。 | 4月11日 | 20名 | | 100円 |
| 5月16日(日) | 土器の野焼き1 | 4月につくった土器の野焼きをします。 | — | — | | — |
| 5月22日(土) | 耳飾りづくり | 粘土で縄文時代の耳飾りをつくります。 | 5月14日 | 20名 | | 30円 |
| 6月19日(土) | 耳飾りの野焼き | 5月につくった耳飾りの野焼きをします。 | — | — | | — |
| 7月10日(土) | カラムシから布をつくろうその1 | カラムシを刈り取り、繊維を取ります。 | 7月2日 | 15名 | | 無料 |
| 8月1日(日) | 土器づくり2 | 小型の土器をつくります。 | 7月23日 | 20名 | すべて | 100円 |
| 8月22日(日) | 土器の野焼き2 | 1日につくった土器の野焼きをします。 | — | — | 小学生以上 | — |
| 8月28日(土) | カラムシから布をつくろうその2 | カラムシの繊維を紡いで糸をつくります。 | — | — | | — |
| 9月19日(日) | 土器づくり3 | 小型の土器をつくります。 | 9月10日 | 20名 | | 100円 |
| 10月2日(土) | カラムシから布をつくろうその3 | 糸からアンギン台で布を織ります。 | — | — | | — |
| 10月24日(日) | 埴輪づくり | 小型の埴輪をつくります。 | 10月15日 | 20名 | 小学4年生 | 200円 |
| 11月14日(日) | 土器・埴輪の野焼き | 土器と埴輪の野焼きをします。 | — | — | 以下は | — |
| 11月21日(日) | 土器づくり4 | 小型の土器をつくります。 | 11月12日 | 20名 | 保護者の付き | 100円 |
| 12月11日(土) | 凧づくり | 竹ひごや和紙で凧をつくります。 | 12月3日 | 20名 | 添いが必要 | 200円 |
| 12月19日(日) | 土器の野焼き4 | 11月につくった土器の野焼きをします。 | — | — | | — |
| 1月16日(日) | 土器づくり5 | 小型の土器をつくります。 | 12月26日 | 20名 | | 100円 |
| 1月22日(土) | 石器づくり | 石を割って石器をつくります。 | 1月7日 | 20名 | | 200円 |
| 2月13日(日) | 縄文時代の櫛づくり | 木を削って、櫛をつくります。 | 2月4日 | 20名 | | 100円 |
| 2月20日(日) | 土器の野焼き5 | 1月に作った土偶、土面の野焼きをします。 | — | — | | — |
| 3月13日(日) | 古銭づくり | 型を使って古銭をつくります。 | 3月5日 | 20名 | | 100円 |

2 まほろんイベント(先着順、時間はそれぞれのメニューによって違いますので、お問い合わせください)

| 期日 | イベント名 | イベント内容 | 募集締切 | 募集人数 | 対象 | 材料費 |
|----------|------------|------------------------|--------|------|-------|-----|
| 5月5日(水) | 昔話を聞こう | 堅穴住居の中で昔話を聞きます。 | なし | — | どなたでも | 無料 |
| 6月5日(土) | 炭づくり1 | 穴を掘って炭焼きをします。 | 5月28日 | 20名 | 小学生以上 | 無料 |
| 6月6日(日) | 炭づくり2 | 出来上がった炭を取り出します。 | — | — | 小学生以上 | 無料 |
| 7月25日(日) | ボランティアイベント | いろいろな体験ブースで体験ができます。 | — | — | どなたでも | 無料 |
| 9月4日(土) | 体験発掘ツアー | 調査中の遺跡で発掘を体験します(場所未定)。 | 8月22日 | 25名 | 小学生以上 | 無料 |
| 12月5日(日) | 餅つき大会 | 再建された奈良時代の家で餅をつきます。 | — | — | どなたでも | 無料 |
| 1月9日(日) | 第1回双六大会 | 昔の遊び「双六」の大会を行います。 | 12月28日 | 20名 | どなたでも | 無料 |
| 2月6日(日) | 第1回杖枕大会 | 中世の和式ホッケー「ぎっちょう」の大会です。 | 1月29日 | 20名 | どなたでも | 無料 |
| 3月20日(日) | 第2回杖枕大会 | 中世の和式ホッケー「ぎっちょう」の大会です。 | 3月11日 | 20名 | どなたでも | 無料 |

3 まほろん探検隊(まほろん森の塾:今年度の登録は〳切ましたので、来年度ご参加ください)

| 期日 | 体験メニュー | 体験内容 | 募集内容 |
|-----------------|--------------|---------------------|-------------------|
| 5月8日(土) | 結団式、田植え | 古代米の苗で田植えをします。 | |
| 6月12日(土)・13日(日) | 釣針づくり、春のお泊り会 | 鹿角で釣針をつくり、釣りをします。 | |
| 7月3日(土) | 石器づくり | 石のやじりと弓をつくります。 | 1 小学5年生～中学3年生 |
| 8月7日(土) | 耳飾りづくり | 土で耳飾りをつくります。 | 2 定員15名 |
| 9月11日(土) | 櫛づくり | 木で縄文時代の櫛をつくります。 | 3 継続して半年間活動できること。 |
| 10月16日(土) | 稲刈り | 石庖丁で弥生時代の稲刈りを体験します。 | 4 申し込み受付は終了しました。 |
| 10月6日(土)・7日(日) | 秋のお泊り会、解団式 | 体験広場でキャンプをします。 | 5 材料費1,000円 |

4 まほろん文化財講座

| 期日 | 講座名 | 講師 | 募集締切 | 募集人数 | 対象 | 入場料 |
|----------|----------------|--------|------|------|-------|-----|
| 2月12日(土) | 私が掘ったあの遺跡ー県北ー | 当事業団職員 | 先着順 | 60名 | どなたでも | 無料 |
| 3月12日(土) | 私が掘ったあの遺跡ーいわきー | 当事業団職員 | 先着順 | 60名 | どなたでも | 無料 |

5 館長講演会(年6回)

| 期日 | 講演題 | 募集締切 | 募集人数 | 対象 | 入場料 |
|-----------|---|------|------|-------|-----|
| 4月24日(土) | シリーズ『考古学からみた“ごはん”と“パン”』第1回「米と麦の広がり」 | 先着順 | 60名 | どなたでも | 無料 |
| 5月15日(土) | シリーズ『考古学からみた“ごはん”と“パン”』第2回「米作りの起源と展開」 | 先着順 | 60名 | どなたでも | 無料 |
| 6月26日(土) | シリーズ『考古学からみた“ごはん”と“パン”』第3回「米の広がり」と日本」 | 先着順 | 60名 | どなたでも | 無料 |
| 10月23日(土) | シリーズ『考古学からみた“ごはん”と“パン”』第4回「麦づくりができるまで」 | 先着順 | 60名 | どなたでも | 無料 |
| 11月27日(土) | シリーズ『考古学からみた“ごはん”と“パン”』第5回「麦の広がりー西アジア・ヨーロッパから中国ー」 | 先着順 | 60名 | どなたでも | 無料 |
| 12月18日(土) | シリーズ『考古学からみた“ごはん”と“パン”』第6回「世界の食文化を考える」 | 先着順 | 60名 | どなたでも | 無料 |

※各行事への申し込みは、当館までがき、電話、FAX、電子メール、ホームページの申し込みフォーム等でご連絡いただくか、または、来館時に所定の申込書にご記入ください。(ご家族での申し込みは、まとめてでもかまいません。)